



**🌿**ひとたび蔵王火山の活動が活発化すると、われわれ人間の暮らしは大きなダメージを受けるんじゃ。いや、人間だけでなく、動植物などの環境全体に大きな影響があるんじゃよ。火山活動は、いわば地球の営み。われわれ人間ではコントロールできないんじゃ。日頃から注意して、備えておかねばならないんじゃよ。

**😊**たしかに、蔵王火山はこれまで何度も大きな被害を出してきたけど、ボクたち人間に与えてくれるモノだってたくさんあるんだよ！ 蔵王火山からの贈り物がなければ、この地域に暮らすボクたちの生活そのものが成り立たないんだ。蔵王火山のことを怖がるだけじゃなく、ちゃんと感謝しなきゃいけないよね！

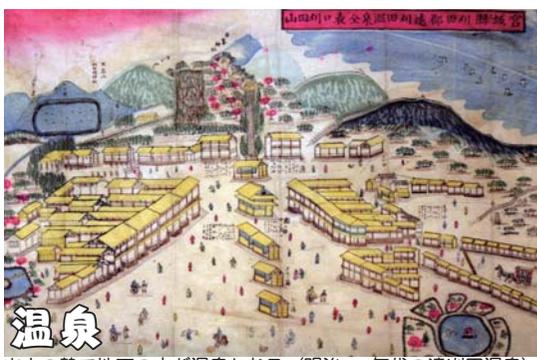
蔵王のシンボル『御釜』

**景観**



蔵王火山の火山灰が元となった肥沃な土壌『黒ボク』

**土壌**



火山の熱で地下の水が温泉となる (明治20年代の速刈田温泉)

**温泉**



火山地層でろ過された美味しい地下水 (宮・宝龍権現清水)

**湧き水**

—ガイド紹介—(地質担当)

蔵王町観光 PR キャラクター  
**ざおうさま**

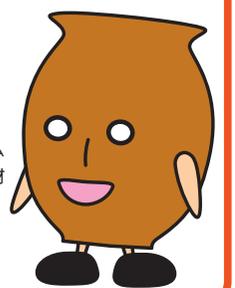
寿永元年(1182)の蔵王噴火とともに生れた...という説もある、蔵王生まれ、蔵王育ち、蔵王の森にひっそりと暮らす王様です。最近では森から出てきて大活躍していますが、本人的には『ダイエット』が目的らしいです。実はスノボが得意とのこと。一度拝見したいものです。蔵王火山の成り立ちをはじめ、地質学分野のガイドをしていただきます。



—ガイド紹介—(しきん担当)

蔵王町歴史と文化財 PR キャラクター  
**どきたん**

蔵王町小村崎地区・六角遺跡に眠っていた土器だそうです。六角遺跡は西暦700年台前半の遺跡。つまり、ざおうさまより400歳以上上ですが、しゃべり方は『元気な小学生』。趣味は『ムカシたんけん』、すなわち遺跡や文化財の探索です。好物はえびせん。やめられないとまらないそうです。蔵王火山と人々のかかわり合いをはじめ、人文学分野のガイドをしていただきます。



蔵王町文化財展⑩

**ざおうさま&どきたん**

**蔵王火山と噴火のしきん**



蔵王町文化財展⑩『ざおうさま&どきたんの 蔵王火山と噴火のしきん』概説リーフレット  
主催：蔵王町教育委員会 協力：蔵王町ジオパーク推進室

展示会場：蔵王町ふるさと文化会館展示室 展示期間：平成26年2月6日～3月16日



蔵王の山は地域のシンボルじゃ。また、それと同時に全国有数の観光名所でもあり、毎年多く観光客が訪れるのじゃ。それゆえ、蔵王の山が火山だと意識していない人も多いんじゃないだろうか？ 現在、日本国内には110の活火山がある。これらのうち関東・東北地方、北海道、千島列島などにある火山は、太平洋プレートの沈み込みによって地下にマグマだまりが列状にできることが原因で形成されるものが多いんじゃない。蔵王火山もそのひとつじゃ。

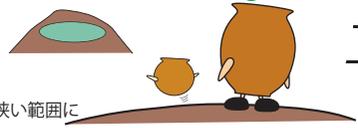
蔵王火山は、約120万年前からの断続的な火山活動によって形成され、その活動は現在も続いているんじゃない。中でも中央蔵王の五色岳周辺は比較的最近になってから活動が活発化した地域で、約3万年前から現在までの火山活動はすべて五色岳周辺地帯で起っているんじゃない。

火山は、噴火によって大量の火山灰や火山弾が噴出し、それが降り積もって山になったものじゃ。しかし、単純に堆積を繰り返しているだけでなく、爆裂による山体崩壊や陥没、地崩れ、水による浸食などもからみ合い、複雑な地形を形成するものなんじゃ。蔵王火山も同様で、長い年月の間に生じた地形の『足し算』と『引き算』のため、非常に複雑な地形となっているんじゃないよ。



蔵王火山の成り立ちをまとめてみたんじゃない。壮大じゃな～！

年代	できごと
約120万～80万年前	瀧山火山（北蔵王）、ロバの耳岩（中央蔵王）、前山・杉ヶ峰（南蔵王）などの山体ができる ○ロバの耳岩は水中で固まった溶岩。つまり、当時はカルデラ湖ができていたことがわかる
約80万～40万年前	活動休止期
約40万～30万年前	五郎岳・三郎岳付近（北蔵王）、中丸山付近（中央蔵王）、馬ノ神岳・不忘岳（南蔵王）などの山体ができる
約30万～10万年前	熊野岳・刈田岳・地藏岳（中央蔵王）、烏帽子岳・杉ヶ峰・屏風岳（南蔵王）などの山体ができる
約10万～3万年前	活動休止期
約3万年前	馬ノ背カルデラができる（中央蔵王） ○複数の火口からの噴火や、爆発的な噴火が発生。比較的狭い範囲に複数の火口が形成され、後にこれらの火口が連結してカルデラが形成された
約3万～1万3千年前	馬ノ背カルデラ内で爆発的な噴火が断続的に起こる（中央蔵王） ○約2万8千年前には五色岳が形成されはじめる ○これらの噴火の火山灰は遠刈田温泉付近から、ときにはさらに遠方にまで降り注いだ
約1万3千～7千5百年前	活動休止期
約7千5百～4千年前	それ以前より規模は小さいが、依然としてやや大規模な噴火が断続的に起こる（中央蔵王）
約3千年前	特殊な規模の水蒸気爆発が発生し、現在の五色岳付近に凹地が形成される（中央蔵王）
約2千年前	凹地の東部から噴火がはじまり、五色岳が成長をはじめる（中央蔵王） ○マグマ水蒸気爆発を繰り返し、火砕サージも多発した
約2千～1千5百年前	五色岳、標高1500mほどまで成長。また、火口がやや西方に移動する（中央蔵王） ○西方に移動した旧火口は御釜火口に隣接しており、現在も痕跡が観察できる
約8百年前	五色岳、火口が現在の御釜の位置に移動する（中央蔵王）
約8百～現在	五色岳、火山活動を断続的に繰り返して現在にいたる（中央蔵王）



ボクたち人間のレキシの中に蔵王火山が登場するのは、イマから1300年ほどムカシのこと。最初は火山の神さま『刈田嶺神』として登場したんだ。その後、修験道の修行の場になって山頂に蔵王大権現がお祭りされて『蔵王山』って呼ばれるようになったんだよ。蔵王は『聖地』。信仰の山なんだ。



蔵王火山のことが記録されるようになったのは、鎌倉時代ごろから。記録されている最古の蔵王火山の大噴火があった年は西暦1227年、一説にはこの時の噴火で御釜火口ができたんじゃないかとも考えられてるんだ。柴田郡の方まで火山弾が飛んでいったってよ！ みんな、コワかっただろうね～。これ以後も、蔵王火山の噴火は何度も記録に残されてるんだ。特に江戸時代以降になると記録の量も多くなってきて、蔵王火山の活動のようすが年単位でわかるようになってたりするんだよ。

もちろん蔵王火山は、噴火や火山活動についてだけじゃなく、和歌や紀行文、見聞記など文化的な面についての記録もあるんだ。人々が蔵王火山のことを、災害の原因となる恐ろしい存在であると同時に、美しく歴史ゆたかな景観地としても大切にしていたことがわかんるんだよ。



刈田嶺神社（宮）  
古代、蔵王火山は『刈田嶺神』という神さまとして国に祭られたんだ。宮の刈田嶺神社はそのために造られたんだ。



蔵王大権現立像（奈良県櫻本坊）  
山伏さんたちが崇める修験道の主尊だよ。この神仏が山頂にお祭りされたことから、『蔵王山』って呼ばれるようになったんだ！



伊達宗高公顕揚碑（刈田岳頂）  
寛永の大噴火（1624）のときに山頂で噴火を鎮める儀式を行った、政宗七男・宗高公の遺徳を讃える碑だよ。この儀式は宗高公が命がけで行ったものなんだ。きつと、困っている領民を救いたかったんだね。

明治28年噴火の写真  
史上初の蔵王火山の噴火の記録写真だよ！



敬明講図（遠刈田温泉・蔵王刈田嶺神社蔵）蔵王町指定文化財  
江戸中～後期から流行した『蔵王の御山参り』の様子を描いた絵馬だよ。蔵王の御山参りは、『遠刈田温泉（蔵王大権現里宮）を出発して山頂の蔵王大権現社にたどり着くまでの間に輪廻転生を果たす』っていうストーリーの信仰登山で、昭和初期まで流行が続いたんだよ！

